

高P連会報

発行者 宮城県高等学校PTA連合会
 仙台市宮城野区幸町4-5-1
 宮城県青年会館内
 TEL・FAX 022-299-4621
 E-mail: miyagikopren@ia2.itkeeper.ne.jp
 印刷 創文印刷出版株式会社
 仙台市青葉区春日町8-34
 TEL 022-222-0181
 発行日 令和3年7月16日(金)

令和3年度総会開催 一県連会長に千葉真己恵仙台三高PTA会長が就任一

令和3年6月1日(火)午後1時からパレスへいあんで宮城県教育委員会生涯学習課千田知幸社会教育専門監、宮城県高等学校長協会佐々木克敬会長はじめ多くのご来賓のご臨席を賜り、令和3年度宮城県高等学校PTA連合会総会が開催されました。昨年は、コロナウイルス感染防止のため書面開催でしたが、今年は、表彰式を中止にして参加者を減らし開催されました。

総会では、令和2年度の事業報告と会計報告、令和3年度の事業案と予算案、令和3年度の役員案などが審議され承認されました。令和3年度の県連会長には、千葉真己恵仙台三高PTA会長が選出されました。また、佐藤慎也前会長と鎌田美千子元会長(全国高P連副会長)が顧問に就任しました。

総会の冒頭、新しく宮城県立支援学校小牛田高等学園が宮城高P連に加盟したことが紹介され、加盟校は82校になりました。会員は、保護者会員と教職員会員を合わせて45,823名となりました。

県連会長挨拶



仙台第三高等学校PTA会長
 千葉真己恵

日頃より、本会の活動に格別のご理解、ご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

令和3年度宮城県高等学校PTA連合会会長を務めさせていただきます仙台三高PTA会長の千葉真己恵と申します。

コロナ禍が世界を覆ってから約1年半。時代が閉塞的な雰囲気覆われている中、子供たちにそれを突破する為の飛躍の力を与えてくれるのは、子供たち自身が多くの事に挑戦し、将来何をなすべきか己の使命を見出し、未来に夢をもつことができるかどうかではないかと思えます。子供たちがたゆまぬ挑戦の精神を発揮し続けることができるよう、私達PTAも歩みを止めるわけにはいきません。

自由に外の世界に行き来できない子供たちが、この土地を心から愛せるような魅力ある多様性溢れる街づくりと、コロナ禍が過ぎた時、再び外の世界に強く踏み出せるよう、最新テクノロジーを駆使した革新的な教育環境を保護者、学校、地域の方々と共に整えて参りたいと思います。

かけがえのない高校生活の一日また一日が、健康第一で充実した光り輝くものになりますよう、共に尽力して参りましょう。

一日も早く、子供たちがその真っ白い翼を伸び伸びと鍛え、自由に羽ばたける日が来ることを心から願っております。

島根大会無観客オンライン開催

一宮城県視察団派遣中止

令和2年度実施から令和3年度に延期した島根大会は、新型コロナウイルスの感染状況から無観客オンライン開催になりました。島根県の大会実行委員会では、最後までリアルでの大会開催を望んでおりましたが、苦渋の決断でした。この結果、宮城県高P連で計画しておりました視察団の派遣も中止になりました。

島根県高P連は、これまで準備でかかった費用、キャンセル料、オンライン配信費用などをまかなう参加費が徴収できないため、多額の赤字を抱えることになりました。

6月26日(土)13:30から開催された、各都道府県市高P連会長、事務局長のオンライン会議で、オンライン参加費の徴収と全国高P連からの補助で赤字を補填することにしました。

オンライン参加費は、1校7,000円で何人でも12月まで都合のよい時に、分科会、(全体会は、8月25日9:00~)視聴できます。現地に行って多くの会員と交流しながらの研修はできませんが、6つの分科会、全体会の講演などを視聴でき、会員研修に利用できるメリットもあります。

オンライン参加希望を各加盟校に案内しておりますが、多くの単Pがオンライン参加を希望することを期待します。

宮城大会第1回準備委員会開催

令和2年5月12日(水)常任理事会終了後に第1回準備委員会が青年会館で開催されました。準備委員会は、令和4年発足予定の実行委員会が結成されるまで、常任理事会と兼ねて準備に必要な事項を確認し協議する組織です。

第1回準備委員会では、大会期日と実行委員会結成までの流れを確認しました。今後、会場の設定やテーマ設定など大会のガイドラインを検討する予定です。

コロナ禍の活動

— 全国高P連のホームページで紹介された活動 —

伊具高等学校

「工夫した教育活動、PTA活動」

1) 高校の教育活動

① 創立100周年記念式典

令和2年11月6日(金)本校生徒・職員・来賓・同窓会役員・PTA役員総勢約300名が新型コロナ対策(消毒・マスク着用・間隔をとるなど)を行い厳かに行われました。(生徒間は1m以上空けました。)

② 令和2年4月8日(水)入学式は生徒・職員・保護者参加で実施、令和3年3月1日(月)卒業式は、卒業生、保護者、職員、1・2年次生徒会役員参加で実施しました。(来賓は16名に厳選しました。)



創立100周年記念式典の様子



卒業式の様子

③ 伊具高祭の中でのミニスポーツ大会、学習発表会、予餞会、表彰伝達などをリモート方式により実施しました。

2) PTA活動

① 令和2年4月24日(金)、事前配付した総会資料をもとにPTA総会を19時より開催しました。事前に委任状を提出していただき、PTA役員26名参加で実施しました。

② 令和2年10月30日(金)、「朝の一声運動」には6名のPTA役員に参加していただきました。

③ 令和2年度は多くのPTA行事が中止となりましたので、会費の一部を返金しました。

加美農業高等学校

「コロナ禍において工夫して実施した教育活動、PTA活動」

(1)高校の教育活動

入学式は放送で行い、保護者は上級生の教室に分散して入っていただいた。式では呼名は行わず、祝辞も割愛した。生徒の教室の様子を保護者の教室にリモート中継し、教室で担任による呼名を行った。

(2)PTA活動

総会は資料配付のみとした。役員会や小委員会の際にはリモートでの参加も可としている。



宮城第一高等学校

「コロナ禍において工夫して実施したPTA活動」

4月のPTA等総会をはじめ、現在まで5回実施予定だった役員会の内、3回は書面開催とし、2回はオンラインでの参加体制も整備し、学校で実施しました。6月下旬から毎土曜日に各年次PTAが研修も兼ねた形で開催、登校時一声運動は9月に1回実施しました。年2回の会報も学校行事等の中止、縮小、会報委員の感染予防により12月に1回の発行となりましたが、会報編集委員の熱い思いが反映された誌面となりました。

古川高等学校

「入学式」

令和2年4月8日(水)に、令和時代最初の入学生による第75回入学式を行いました。今年度の入学式は、新型コロナウイルス感染症の影響



で、保護者等の参列がなく、入学生は各教室に入り、放送による進行の式となりました。また、入学許可は各教室で呼名を行い、記念品の贈呈や代表生徒の宣誓は、前もって動画にとったものを各教室のプロジェクターに配信しました。



仙台二華中学校・高等学校

「令和2年度PTA校内研修会について」

去る10月23日(金)、コロナ禍で様々な懸念がある中、参加人数をホール定員の50%に制限し、検温・消毒を行った上で講演会を実施した。講師はマーティー・キナーナト氏。『文武両道の意味～教育は人生の保険です～』をテーマにした内容は100名を超える参加者に好評を博し、「子どもの可能性を信じ声がけしたい」「どんな意見も肯定し話を聞ける親でありたい」と感嘆の様子。本格的なコロナ対策に「安心して臨めた」との声も聞かれた。



中新田高等学校

「工夫して実施した教育活動、PTA活動」

(1)教育活動

入学式は放送による実施である。実施時期は予定どおり8日に実施した。そのために混乱はきたさなかったが、シミュレーションは何回も行った。ひとクラスにつき、2教室を使い、男女別に分け、入学生と保護者が同室となるよう工夫して行った。担任は2つの教室を回って呼名した。

卒業式は体育館に入れたのは卒業生と3学年担当のみで、保護者は男子生徒の保護者、女子生徒の保護者に分け、教室を2つ使ってリモートでの参加をお願いした。また卒業生のHR時には保護者は入らず、そのままお帰りいただいた。そのため生徒や職員との接触は、ほとんどなかった。これも初めてであった為、何回もシミュレーションを行ったうえでの実施となった。コロナの感染もなく、実施することができた。

(2)PTA活動

年度開始当初は総会、役員会の協議を书面決議で行い、意見の集約は郵送で行った。8月4日にPTA役員の前で顔合わせとなり、8月18日の合同面接会の打ち合わせ、および後期の活動確認を行った。例年行っている文化祭での出品は今年度は中止にした。

村田高等学校

「体育祭・村高祭を一体化！

思い出のPTA主催花火打ち上げ」

コロナ禍で短縮化した体育祭と村高祭が令和2年10月22日から24日まで行われた。フィナーレとして花火師であるPTA会長から「コロナ禍の影響で学校行事が行えないみんなを元気づけるためにPTA主催の花火を打ち上げるようになった。ぜひとも思い出にして欲しい。」との挨拶があった。グラウンド真上に広がる花火は、音も大きく形や色もとても綺麗だった。生徒から、「PTA会長ありがとう！」と歓声が上がった。花火で明るくなる瞬間に生徒の笑顔が輝いていた。



体育祭



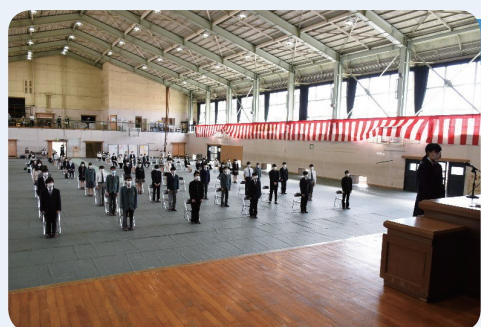
思い出の花火

名取北高等学校

「PTA オンラインセミナー」

2020年度の本校の活動は、新型コロナウイルス感染症対策のため、大幅な縮小を余儀なくされました。学校行事としては、入学式の参加を生徒のみに限定、修学旅行を中止、文化祭「北高祭」を中止、体育祭を10月に延期した上で開催日を2日から1日に縮小、芸術鑑賞会・同窓会主催講演会は両方中止となりました。PTA行事も、PTA総会は電子メールによる議決としましたが、PTA研修旅行は中止となりました。

そんな中でも、PTAオンラインセミナーとして、zoomウェビナーを3回開催しました。また、PTA会誌「めいほく」が、地区会報コンクール代表の3校に選ばれました。2021年度も大変な状況は続きますが、PTA会員みんなで協力し合って乗り切っていきたいと思います。



仙台高等学校 「クラスごと8展開で実施した入学式」

社会全般(多方面)が、このコロナ禍においてご心労されていることと思います。本校も例外なく、感染症対策を施しながらwithコロナで教育活動を実施しています。特に第一波の学校運営に苦労した時期は、密を避ける観点から例年行われている学年全体の入学式・入学説明会ではなく、8クラス8展開の少人数で、それぞれ保護者も参加し一日をかけて行いました。休校や入学式の延期がありましたが、晴れの日を保護者とともに実施できたのは、本校PTAの絶大なる理解と協力があったからです。

単P会長研修会

令和3年6月1日(火)に、令和3年度総会終了後、15:00からパレスへいあんで単P会長研修会が110名の加盟校の会長、事務局長が参加して開催されました。研修の内容は下記のとおりですが、研修3の「PTA会長に就任して」と題しての3名の方の経験談はPTA活動の本質に迫るものがありました。

- 研修1「これからのPTA活動」
宮城県教育委員会生涯学習課 課長補佐 青野 禎宏氏
- 研修2「宮城県高P連について」
宮城県高等学校PTA連合会 事務局長 三塚 明彦
- 研修3「PTA活動を振り返って」
泰田亜紀子(令和2年度泉高会長) 鎌田美千子(令和2年度仙台高会長)
今野 朋和(令和2年度石巻工高会長)

委員会活動はじまる

令和3年6月23日(水)14:00からガーデンパレス仙台において、合同委員会が開催され、今年度の委員会活動がはじまりました。コロナ禍の中、東北地区の委員会活動の方針が決まらないなか、県内の各委員会では、1回は独自の活動ができるよう話し合いが行われました。

令和3年度宮城県高等学校PTA連合会役員

役職名	氏名	所属校	支部/委員会	健全育成	進路対策	調査広報
会長	千葉 真己恵	仙台三	仙塩支部	◎江里美穂子 (仙台南)	熊谷由美 (第二工業)	鎌田真理子 (仙台三桜)
副会長	泰田 亜紀子	泉				
〃	勅使瓦 城 基	柴田	仙南支部	○信濃 夏子 (柴田農)	◎高橋 真 (巨理)	三好正和 (名取北)
〃	小嶋 昌信	古川				
〃	関本 栄子	東松島	大崎支部	佐々木 寛 (中新田)	○() (南郷)	◎三浦 聡子 (田尻さくら)
〃	荒木 香織	登米総合				
監事	布田 早苗	仙台東	石巻支部	尾形直也 (石巻工)	三浦ミキ (石巻北)	○佐藤 信寿 (石巻)
〃	佐藤 秀晃	白石				
〃	尾形 直也	石巻工	県北支部	佐藤 英和 (築館)	小野寺 由紀子 (登米)	高橋 治 (岩ヶ崎)
理事(仙塩)	☆大友 恵	仙台西				
〃	☆石川 美香	仙台工	◎委員長 ○副委員長			
〃	☆高橋 かおり	多賀城	事務局長研修会担当校 古川			
〃	加藤 浩	仙台二	東北大会発表 古川			
〃	鎌田 真理子	仙台三桜	支部事務局			
〃	江里 美穂子	仙台南				
〃	熊谷 由美	宮城第二工	支 部	支部長	事務局長	所属高
理事(仙南)	☆高橋 真	巨理	仙 塩	泰田 亜紀子	菅 修一郎	泉
〃	三好 正和	名取北	仙 南	勅使瓦 城 基	飯田 雅一	柴田
〃	信濃 夏子	柴田農	大 崎	小嶋 昌信	鈴木 豊	古川
理事(大崎)	☆地紙 正和	古川工	石 巻	関本 栄子	高橋 儀成	東松島
〃	()	南郷	県 北	荒木 香織	阿部 孝治	登米総合
〃	佐々木 寛	中新田	県連事務局			
理事(石巻)	☆遠藤 善博	石巻西				
〃	佐藤 伸寿	石巻	事務局長	三塚 明彦	専 任	
〃	杉山 昌行	桜坂	書記・会計	樋口 英康	専 任	
理事(県北)	☆村上 真人	気仙沼	事務局次長	佐々木 久善	仙台三	
〃	尾崎 和弘	一迫商	書記	佐藤 秀樹	仙台三	
〃	佐藤 英和	築館	書記	松浦 聡至	仙台三	
県連顧問	佐藤 慎也	前会長				
〃	鎌田 美千子	全国高P連副会長				
〃	佐々木 克敬	仙台三高校長				

☆常任理事

※令和3年度 フェスティバル担当校 白石 仙台工 古川 桜坂 登米総合

編/集/後/記

コロナウイルス感染拡大が危惧されるなか、東京オリンピック・パラリンピックの開催準備が進められています。開催には、賛否両論あり、国民の意識の高揚が心配されます。「STOP! コロナ差別」を実践し、大会準備やコロナ対応でリスクを抱えながら厳しい環境の中で懸命に働く方々に感謝の気持ちをもって敬意を表したいと思います。